

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

与謝野 議会だより

第58号

2020年
11月10日発行



与謝野議会だより 第58号

まちの宝
子どもページ

かえでこども園の紹介

『やってみたい!たのしい!いっしょに遊ぼう!』



友達と一緒に楽しい!

平成28年に幼稚園と保育所の機能を合わせ持ち、両園の良さを融合させた幼保連携型認定こども園・かえでこども園が開園して以来4年、新園舎が設置されてから3年が経過しました。新しい環境にも慣れ親しみ、園児や保育教諭、保護者と共に園を創りだす喜びを感じながら、日々保育を行っています。

本園では今年のテーマを「やってみたい!たのしい!いっしょに遊ぼう!」～一人一人が遊びを十分楽しみ、つながる喜びを感じられる子どもを目指して～として保育を進めています。一人一人を大切に、その子らしさを受け止め、子ども主体の保育を心掛け、人と人につながる喜びや楽しさを感じられる遊びや、環境づくりに努めています。

また、子どもとの共感や応答的な関わりから生まれる自己肯定感の育みを大切にしたいと考えています。『環境(遊び)』を通して学びに向かう力を育て「もっとしたい」「こうしてみよう」「友達と一緒にしたい」等子ども達が自分で、考えて・決めて・進めていく遊びや、一人一人が「やりたい」「できる」という意欲や主体性、生きる力やつながる力の基礎を、これからも育てていきたいと考えています。



登ってやる～!!



穴の向こうに
友達見えた!

ねえ!何見えた?

発行：与謝野議会 編集：与謝野議会広報特別委員会
住所：〒629-2498 京都府与謝郡与謝町字加悦(加悦庁舎3階)

TEL: (0772) 43-9027 URL: <http://www.town-yosano.jp>
FAX: (0772) 42-0528 E-mail: gikai@town.yosano.lg.jp

主な記事

- ◎令和元年度決算・・・2P
- ◎補正予算・・・10P
- ◎一般質問・・・17P

令和2年度江陽中学校文化祭

《題字》加悦谷高等学校・宮津天橋高等学校 加悦谷学舎/書道部1年 細見ひな さん

江陽中学校の紹介

『コロナ禍でも
自分たちにできることを』



文化祭 3年生学年合唱

本年度の本校生徒会スローガンは「One for All, All for One ～誰もが主人公～」です。「一人一人の可能性や持っている力を発揮して、互いを認め合い、つながっていこう」という想いを込めました。

新型コロナウイルスの影響でさまざまな活動が中止・制限される中でしたが、9月には体育祭・文化祭を「NewWave」のスローガンの下、実施しました。生徒たちの熱い思いと創意工夫が、文字通り「新たな波」を起こし、本校の伝統の新たな1ページを飾りました。

新型コロナにより例年通りの活動はできませんが、この問題を身近なものとして感じ、自分たちにできることを考えて行動する姿に頼もしさを感じます。今後とも社会と繋がった教育活動・生徒会活動を展開していきたいと思ひます。



体育祭 ブロック創作演技



丹後ブロック総体(バスケットボール)

令和元年度
決算認定

3年振りに 基金とりくずしなし

税金使途・事業問題点

などを議論し賛成多数で承認

特別会計 決算一覧

(単位：万円)

会計別	歳入	歳出
宅地造成	829	829
下水道	16億4467	16億4451
農業集落排水	3706	3703
介護保険	事業勘定	28億0373
	サービス勘定	1020
土地取得	42	8
国民健康保険	事業勘定	23億5709
	直診勘定	8501
後期高齢者医療	2億9421	2億8958
財産区	9014	953
合計	73億3082	72億0516

水道事業会計

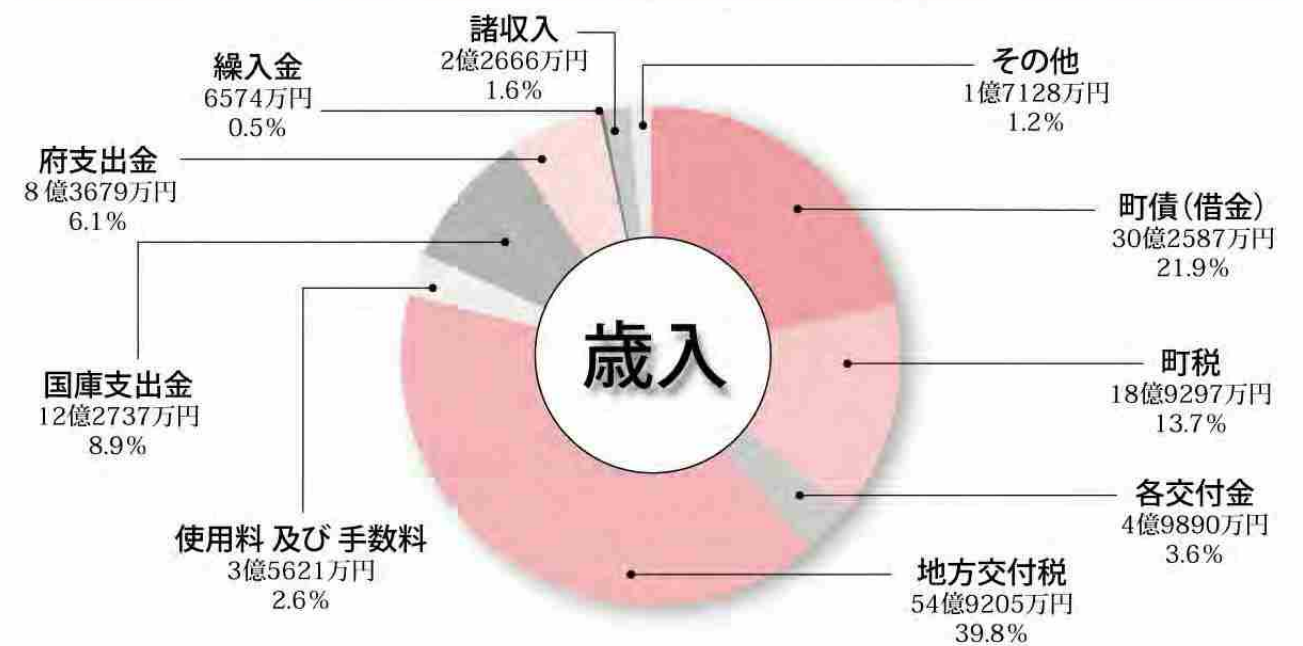
(単位：万円)

収益的収入	8億1962	資本的収入	1億5606
収益的支出	8億2650	資本的支出	3億7857

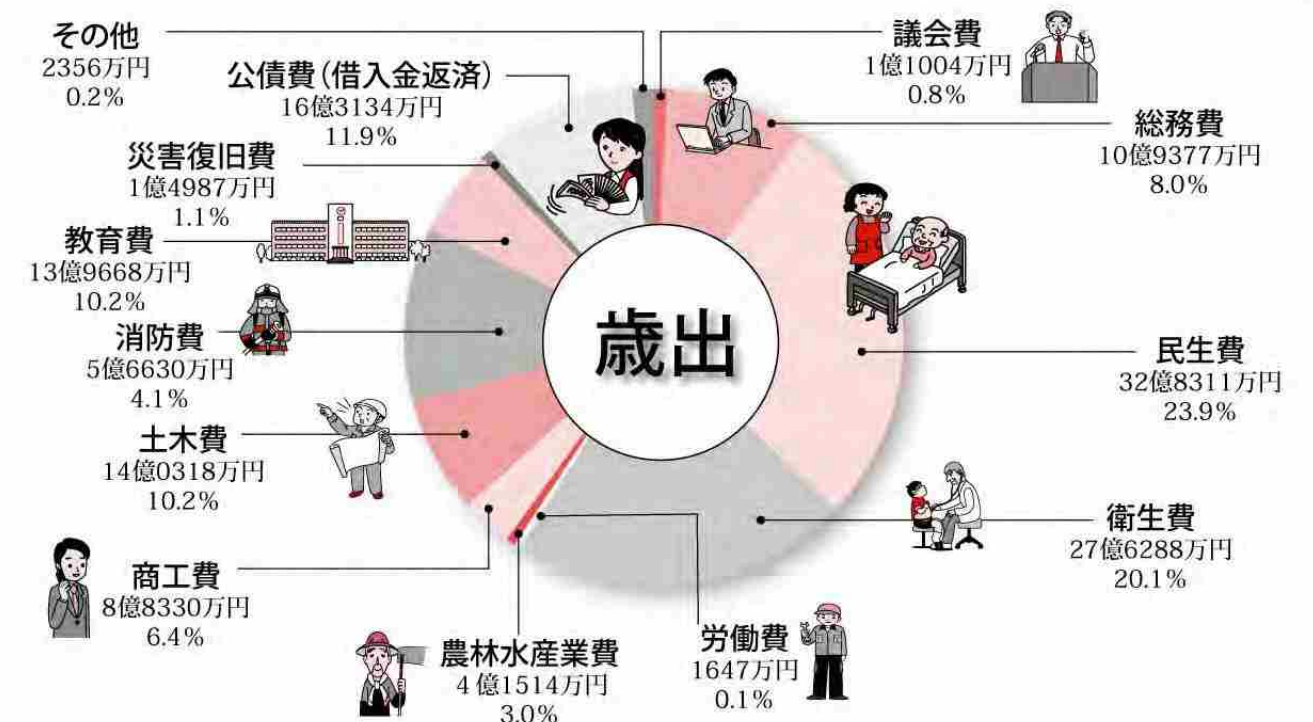
令和2年度財政状況 「財政健全化判断比率」

- ◎経常収支比率 96.8% (基準75%以下)
- ◎財政力指数(3カ年平均) 0.286% (基準1.0に近いほど良い)
- ◎実質公債費比率(3カ年平均) 17% (基準18.0%以下)
- ◎将来負担比率 123.0% (基準350.0%以下)
- ◎実質赤字比率 該当なし (基準14.1%以下)
- ◎連結実質赤字比率 該当なし (基準19.1%以下)

歳入合計額137億9382万円



歳出合計額137億3563万円



※端数整理のため一致しないものがあります。

内容説明

一般会計は、歳入総額137億9千3百82万円、歳出総額137億3千5百63万円、差引額は5千8百19万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源2千3百77万8千円を差し引いた実質収支額は、3千4百41万2千円の黒字となった。3年ぶりに財政調整基金を取り崩すことのない黒字決算となったが、財政指数は3カ年平均で0.286と前年度より0.006下がり、町財源の余裕はない。また、基金(貯金)の合計残高は、55億3千4百33万円、前年度より1千4百15万円減少した。町債(町の借金)は、30億2千5百86万円、前年度より19億9千4百9万円の大幅増となった。観光施設整備事業債3億3千40万円の皆増に加え、ごみ処理施設整備事業債14億2千8百30万円、小学校施設整備事業債3億3千5百10万円の増が要因である。実質公債費比率は17%であり、府の許可がないと起債ができない18%にせまっている。本会議では、14人の議員が、令和元年度の私たちの税金がどのように使われたか、無駄な事業や問題点はなかったか、などを議論し賛成多数で認定した。

杉上忠義

本町は、海の京都DMOに474万円の負担金。海の京都DMOと謝野地域本部(与謝野町観光協会)に補助金1665万円と観光関連の決算が多額である。本町の観光事業の成果と「海の京都」の関係が不透明。海の京都DMO事業計画には、「食」「広域連携周遊」「産業文化遺産の活用」等の取組みとあるが、「舞鶴」「宮津・天橋立」「伊根」が目立つとの声も多いが、府北部5市2町が連携して広域観光に取組



現在のちりめん街道

和田裕之

今年の秋冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を最大限に警戒が必要だ。インフルエンザワクチン接種の希望者の急増が予想される。学校教育環境の充実。元年度では、ぜひ元過去から提案してきた小学校エアコン設置、小中学校トイレ洋式化を多くの学校で実施。教育環境をどう考えるか。保健課長 例年より早い10月5日から実施。まず、65歳以上を優先し、その後に必要な方々の接種と優先順位で段取りをする。学ぶことも多い。65歳以上の接種公費



早めの予防接種を

大内峠一字観公園

渡邊貫治

大内峠一字観公園の道路が崩れたままだが。観交課長 長い間工事にかかれなかったが、今回国の交付金がつき、着手可能となる。観交課長 年内一杯と考えているがスタンドが故障するとその時点とする。阿蘇ベイエリアの活性化。阿蘇ベイエリアの民間施設、山ヨ醤油の地方創生施設が動いていない。観交課長 町民の皆さんに周知徹底を行ない不利益を被るが。観交課長 考えていない。温泉スタンドでコインを使い切ってほしい。



年内一杯の温泉スタンド

魅力化事業その後は

山崎政史

高校魅力化事業の取り組みについて、全国的に見ても高校の魅力化の取り組みについては市町村が単独で取組む事業でなく都道府県単位で取組みをしているように感じる。府も大きく評価をしていると昨年は答弁をいただいたが、その後の京都府のかかわりはどうなっているのか。社教課長 京都府では初の取り組みであり、府からもコンタクトがあった。令和2年度になり京丹後市でも同じような取り組みが始まった。京都府を含め地域での取り組みの必要性を認識頂いている。小学生のバス通学は。町内には同じような環境の児童も多くいるのではないか、これを機に小学生の通学方法の再検討をしてもらいたいという。前も質問したがその後の取り組みは。学校課長 距離だけでなく危険箇所など柔軟に考える必要があるが、具体的な検討には至っていない。バス通学について野田川地域は学校再編時に検討しなければならぬとの答弁を頂いたが、小学校の再編についてはどのような動きになっているのか。学校課長 令和10年度以降の再編計画とし、児童数を毎年確認している。当初の再編計画より期間が延びた。学校の再編を待たないのでは。学校課長 猛暑については給水タイムで対応するが、今すぐのバスの対応は考えていない。

野田川衛生プラント事業

宮崎有平

衛生プラント施設は、老朽化が進んでいる。事業も年々縮小していると思うが、今後のあり方は。住環課長 下水道事業が完備されても浄化槽が800基ほど残るので汚泥処理をする必要がある。将来的にはプラント施設で希釈し、下水道に投入する計画を進めるので、野田川衛生プラントは今後も必要である。建設課長 補償については未来永劫というわけにはいかない。基金の金額は、一定の算定基準に基づいて出しているが、30年後をどのようにするかは、超えた段階で地元と相談することになる。

渇水対策事業。石田地区渇水問題はどのように解決したのか。建設課長 この問題は、いまだで流れていた農業用水(沢水)が、自動車道のトンネル工事によって枯渇したことによる補償問題である。補償の方法として、工事前と同等以上の水量が流れるようトンネル湧水をポンプで汲み上げ、パイプラインが必要な水路へ放流して

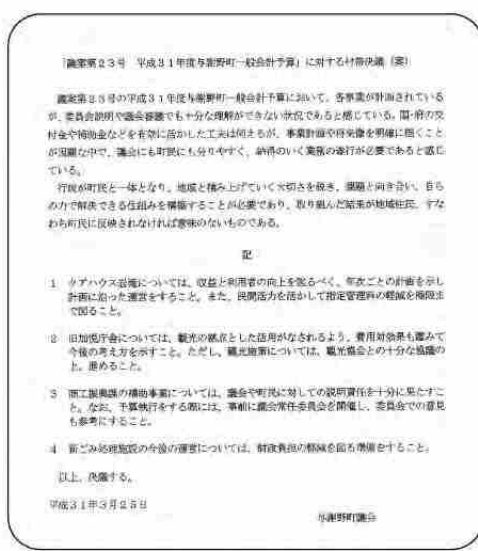
付帯決議の重み

家城 功

問 クアハウスについては、指定管理者との協議は、指定管理者との協議の上で作成された事業計画は示されていない。
町長 連携を図り確認をしながら進めたい。指摘については報告させていただく。今後も検討する。

問 新ごみ処理施設経費削減については協議されたか。
町長 クアハウスと新ごみ処理施設の二点は、予算審議の時に付帯決議が可決されたもの。議会の議決事項については、行政の責任を果たすべき。

町長 再確認し、議会や町民にわかりやすく丁寧な取り組みによって、に説明していく。



付帯決議



町民の命にかかわるAED

AED販売業者の処分

山崎良磨

問 町が購入したAED販売業者の書類送検が報道されたが、町の対応は。
総務課長 顧問弁護士と相談し、京都府の事例に従い一月半の購買禁止とした。

問 販売業者だけでなく町にもチェックを怠った非があるのではないか。経緯を町民に説明できるよう報告書を要望する。
副町長 担当課の職員にも注意喚起し、今後このようなことが起こらないように努めたい。



職員増の産業創出交流センター

産業創出交流センター

高岡伸明

問 当初計画通りの成果は出ているのか。
町長 町直営でやっている。当初の計画に近い。消防指令センター新設置は出ているのか。
消防課長 消防指令センターを福知山消防本部内に設置と聞かされた。消防力の強化のために協議が設置された。

問 総務委員会等で説明があるべきでは。
町長 組合議会で説明する。

コロナ禍の来年度予算は

安達種雄

問 コロナ感染拡大により全国自治体の88%が財政悪化で財政調整基金を取り崩している。当町でも厳しい税収で、行政コストも増大する。予算をどの様に考えていくのか。
町長 町の総合計画と選挙公約に基づき行政運営している。コロナの影響から町民を守る、新たな生活様式の構築に取り組む。活様式の構築に取り組む。戦没者追悼式実施を今年コロナの関係で多くの催事が中止だが、戦禍に遭われた御霊の追悼からも実施すべきだ。

福祉課長 例年11月に予定しているが今年は来賓等参加者を縮小し開催予定。

優良製品の推進計画とは

今井浩介

問 優良製品認定推進事業として、東京台東区主催の「ふるさと交流ショップ台東」に昨年に引き続き出店し、決算は旅費のみ計上されている。今後、与謝野町優良製品というものをどう扱って、何をしていきたいのかか
町長 制度の在り方については過去15年間にわたり運営してきた。組織運営に対する課題認識、時代の変化に合わせた組織運営も必要であるという観点から、組織内でもどのような形で取り組むべきかを議論を行って頂いてきた。与謝野町はものづくりの地域であり、様々な優良な産品は生み出されていると認識している。その上で優良製品制度をリニューアルしていくべきと考えている。議論を重ね今後の方向性を見出していききたい。

問 町長がどうしたいかというビジョンが無ければ協議もできない。ビジョンに向かって取り組んでほしいといった計画はあるのか。行政ができる形として、ふるさと納税への参画により、まちのPR、観光、生産者への支援として頂きたい。
町長 与謝野町の様々な製品の認定に対して客観性をもった評価が必要。その評価を基に選定をする。産品や認定制度は過去から議論を重ねてきたが、指摘も含め議論を加速させたい。担当課において適正な議論を進めていきたい。



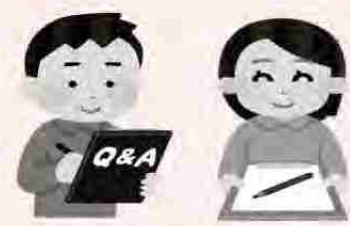
どうなる令和3年度予算

議会懇談会について

令和2年度の議会懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見合わせることにいたしました。

なお、役場各庁舎窓口付近に「投書箱」を設置いたしますので、議会また行政に対するご意見・ご要望等をお寄せいただきますようお願いいたします。(様式は問いません)

期間は、令和2年11月10日(火)～令和2年12月25日(金)です。



投書箱にご協力をお願いします

お詫びと訂正
 議会だより第57号・20頁の新生加悦小学校コーナー写真キャプションで、「中学生との交流」は「体育委員会 企画 玉入れ大会」の誤りでした。ここにお詫び申し上げ訂正させていただきます。



加悦地域認定こども園整備に係る予算については、すでに議会承認済であるが、入札結果に基づく請負契約が高額であるため議会承認が必要となったもの。

契約は建築工事約6億6千万円、電気工事約8千8百万円、機械設備工事約1億5百万円、合計約8億5千3百万円というもの。

その財源の94%8億4百万円が起債（借金）であり、公債費比率危険ラインの財政見通しや公募による競争性がはたらいっているというものの、1社のみ入札で、99・9%の落札率となった建築工事等について3人の議員が質問した。議案は全員賛成で可決された。

**加悦地域こども園
新築工事請負契約**



写真はかえてこども園

園 借金返済に充てる額が17%となり、起債発行に知事許可が必要な18%目前。今回、認定こども園工事請負契約については約8億円の起債で償還額の見直しは。

企財課長 分母が下がることにより公債費比率は上がるメカニズム。

園 計画しているハード事業は繰延すべきでは。

企財課長 起債発行ゼロはできないが大切な視点。

企財課長 年間償還額は増加する。

園 コロナで税収減が心配される。新たな借金を

**起債制限目前事業繰延を
永島洋視**

令和元年度決算に対する討論

反対討論

高岡伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「修正削除された予算を含め考える」

わが党の永島議員は、監査委員として審査報告書作成に携わっている。決算には賛成すべきと思うむきもあるが、決算を承認するかどうかは議会に提案され、否決や修正削除された予算を含めて考えるべき。当初予算には付帯決議が付き、修正削除3件、否決は2件と与謝野町始まって以来だ。産業創出交流センターの指定管理者議案では2度の否決となった。突発的で、説明不足など問題点が鮮明になった年度だ。町民の声の代弁であることを表明して反対討論とする。

賛成討論

山崎政史（よさの21クラブ）

「さらに前進することを期待する」

第2次総合計画を基軸として、山添町政5つの基本政策と整合性を図ると共に地方創生推進交付金など有効な財源を積極的に活用し財政の健全化に取り組み、3年ぶりに財政調整基金を取り崩さない黒字決算、実質単年度収支も平成27年度以来4年ぶりに黒字となった点は大きく評価ができる。

しかし財政状況は依然として厳しい状況にあり注意が必要であるが、地方創生推進交付金をはじめ様々な財源を積極的に活用・検証したうえで、第2次総合計画の実現に向かってさらに前進することを期待し賛成討論とする。

9月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載 ○印は賛成 ×印は反対（議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の成否を決定します）

議案	議員名	賛成	反対	高岡伸明	永島洋視	杉上忠義	山崎良磨	下村隆夫	安達種雄	今井浩介	山崎政史	和田裕之	河邊新太郎	浪江秀明	渡邊貫治	家城功	宮崎有平	多田正成	
令和元年度与謝野町一般会計歳入歳出決算認定について		11	3	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設に関する請願書		10	4	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書（案）		11	3	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—

一般会計補正予算第4号

9月議会に提案された一般会計補正予算は、5億5千2百万円を増額し1億50億8千3百万円とするもの。

補正予算のうち86%を占める4億7千6百万円が新型コロナウイルス感染症対策である。

暮らしと経済を守る対策の主なもの、水道基本料金2カ月減免、登園自粛児童保育料2カ月減免、補助率15%上限20万円の住宅新築改修助成制度、売上減少町内事業者へ上限10万円の4〜12月の電力基本料、機器リース料補助、小中学校生徒へのタブレット端末整備、1人1500円（6月補正分も含め）のポイントを付与するポイントカードシステムの導入支援等である。

質疑はコロナ対策を中心に12人の議員が行い、全員賛成で承認された。



議会のようす

基金に繰り入れを

山崎良磨

問 6月議会の補正予算に続いて非接触カードに予算を計上しているが目的は。

商工課長 過去にも商品券業務は行っており、アフターコロナに備え今回はこの制度に予算を使いたい。

商工課長 6月議会で承認された予算で補助団体が購入するカードシステムの非接触カードに千円分のポイントを追加する予算である。

問 会員の応募が目標より少なかった際の余った予算は基金に繰り入れできるのか。

商工課長 繰り越す予定である。

問 この予算で全町民に千円の商品券を配ったほうがよいのではないか。



非接触カード浸透するか

検証し次に活かす事が大切

家城功



実際の食堂部分

問 コロナにかかる緊急対策交付金事業が多岐多額に計上されている。十分な準備期間もない中で幅広い対応には感謝をしている。今後は各事業の検証をしっかりと行い、次に活かすことが大切。

問 クアハウスのその後は、リニールオープンの直後に食堂部分の営業許可を取得で、休業を余儀なくされた。その後の報告は全くない。議会にも町民にも明確に。

町長 検証をしっかりと行い、次に活かせる体制を図っていくことは使命であると感じている。

町長 再度確認をしてしっかりと説明に努める。

ひまわりバス岩屋線

安達種雄

問 岩屋線の運行が週2日から3日となり、時刻表など町民への周知は。

問 い、との結論になった。腰掛ける所もなく、真冬に停留所路側に、除雪の雪が固まり道幅が狭くなる。車の往来が多い

企財課長 時刻表は9月25日の回覧板で配布する。25日の回覧板で配布する。病院へ行く人は9月に10月の予約をする。9月25日配布では遅い。

問 なか、また真夏35度近い気温で身体に障害のある方がバス停で待つのは大変だ。何とか考えるべきだ。

企財課長 遅いかも知らないが、丹海バスと何回もバスダイヤを調整した結果、四辻バス停で約30分待つて頂き10時過ぎに北部医療センター着で、診察を受けていただきました。

企財課長 交差点のある場所にはバス停の移動は難しい、今後限られた条件のなかで検討していきたい。



ひまわり四辻バス停

住宅改修助成復活は評価

永島洋規



補助を有効活用

問 コロナ経済対策として住宅新築改修補助金8千万円が計上されている。党議員団が繰返し復活を求めてきた事業であり評価する。前回と異なる点があるのか。

建設課長 エアコン工事等も対象となるよう工事を10万円以上に引き下げた。

問 来年11月までの事業だが、継続するのか。

町長 事業継続は現在のところ考えていない。どこも考えていない。

問 補正予算には2カ月の水道基本料金減免が含まれている。町長は6月議会でも減免はしないと答弁したが、3カ月で方針変更となった。補正予算提案説明で経過と変更理由を説明すべきだが全くない。町長答弁が軽すぎはしないか。

町長 提案で説明したつもりである。指摘はあたらぬ。

支援は多くの事業者へ

高岡伸明

問 飲食店応援事業の評価はできているか。

問 ホームページ、KYTの広報で対応してきた。

商工課長 精算事務をしているところだ。実績報告書の提出待ちの状況だ。

問 補助金が残っているが、途中でお金を返し、中止した店があると聞くが。

問 35店舗の参加だが、公募を知らなかったという業者もあると聞くが広報の方法は。

商工課長 事業報告を待っている状況だ。事実の確認ができていない。業者の勘違いもあったよう知らせ版、商工会・町のだ。



事業報告はいかに

請願審査報告

請願第1号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設に関する請願書

掲題の請願書については、6月定例会において議会より総務文教厚生常任委員会に付託され、9月定例会までのこの間、委員会で聴取、討論を経て賛成多数で採択すべきものとされ、本会議で採択された。

結果は賛成多数で採択された。

内容は加齢性による難聴者の補聴器購入に公的な補助を願う請願であり、国に意見書を送付することとなった。

反対討論

家城 功（よさの21クラブ）

「議会として幅広く扱うべき」

この請願は、加齢性難聴者の補聴器購入時の補助を国に要望するという内容である。加齢性難聴者の方の苦労や負担は十分に理解できるが、加齢による身体機能の障害は難聴だけでなく多岐に及ぶ。議会として国に要望をするのであれば、幅広い見地から研究や議論をして提出すべきと考える。

賛成討論

高岡伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「請願は受けとめるべきだ」

請願は憲法で保障された国民の権利だ。住民から提出された請願を実現する必要があるかどうかを、議会として判断すべきものだ。加齢による機能障害は難聴だけではない、幅広い内容にするべきという意見があるが、幅広い内容にしなければ採択できないとするなら、国民の請願権を制限することになる。請願をどしどし出してもらい国・府・町に届けるのが私たち議会の役割だ。請願を提出してもらいやすい環境を作ることが大切であることを申し上げて賛成討論とする。

町民に届く支援を

杉上忠義



与謝野駅の活性化を

問 新型コロナ対策事業として近隣の市町村では住民に現金、商品券が届く支援策を実施。本町ではなぜ行われないか。
町長 各課提案の対策を検討し施策を実施。

与謝野駅の活性化を
問 新型コロナ対策で北近畿丹後鉄道支援等を行う。与謝野駅と構内の整備活性化等が必要であるが、
町長 桜プロジェクトの取り組みが始まっている。今後の展開に期待したい。

町ホームページの目的

和田裕之



現在の与謝野町ホームページ

問 補正予算では、当初予算より増額のホームページの改修費が計上。過去から議会でも多く指摘の町のホームページの目的、求められるものは。
企財課長 安定性、セキュリティは当然だが、高齢者・障害者も含め支障なく利用できることだ。

小中学校の修学旅行は
問 私達保護者の間では行かせてやりたい気持ちと、感染予防には中止だ等、複雑な思いであるが、
学校課長 今後の感染状況で変更はあり得るが実施で日程、行き先を検討。

賛成討論

今井浩介（よさの21クラブ）

「大いに期待できる支援策」

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の予算が大半を占めている。ウィズコロナ、ポストコロナの社会において、日常生活における感染拡大防止策や、生活・福祉への支援策。ICTやタブレットを使用した将来世代への支援策。地元工務店や建築等に係わる業者への支援及び経済支援策。デジタル社会に向けた持続可能な経済循環型施策。限られた予算の中で様々な支援として今回の補正予算は大いに期待できる支援策であると考え、賛成討論とする。

追加議案 財産の処分

旧与謝野町立三河内幼稚園

令和2年3月末日に閉園した三河内幼稚園について、NPO法人こども森保育園を契約の相手方とし、建物部分の財産（土地については貸付）の処分を行うものである。1名の議員の賛成討論を行い、全員賛成で原案を可決した。

主である建物及び付属建物 園舎及び倉庫
床面積合計 4百99・72㎡
敷地 4千1百52・72㎡
処分金額 1千1百60万円
契約の相手方 NPO法人 こども森保育園

賛成討論

山崎良磨

「ありのままを採択すべき」

請願者の補聴器購入補助にかかるこの請願は自身の経験からの話であり、非常に現実味と説得力のある話に感じた。

委員会では、加齢による能力の減退は何も耳だけではない、その他の部位の話も交えて請願を出すべきではないという意見もあった。しかしながら私は、請願の現場で聞いたありのままのリアルを請願として採択することが正道と感じた。

他の加齢による困りごとについてもその都度議会に相談いただき、議員間で討論を重ねていくことが、町民と議会の一体化になると信じている。

以上の事由から原案を通すことに賛成する。

賛成討論

家城 功（よさの21クラブ）

「さらなる展開にも期待する」

こどもの森保育園は、認可外の保育園でありながら、独自の保育方法で、利用者からも信頼と人気を集めている。今回、三河内幼稚園舎を活用し運営をされることは、地元区民も歓迎されており期待している。地元との連携を図っていただき新たな就学前教育保育の拠点として頑張っていただきたい。また、これを機に認可保育園や社会福祉法人化、町認可の3歳児以下保育所も目指しておられるとのことであり、大いに期待するものである。

委員会 事務組合報告

総務文教厚生常任委員会

報告者 杉上忠義

請願の審査状況

聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設に関する請願書」について、委員間で意見交換、質疑討論を行い、その後審査し採決を行った。

産業建設環境常任委員会

報告者 下村隆夫

新型コロナウイルスにおける経済対策

令和2年7月22日、29日開催

（観光交流課）

丹後フロンティア株式会社 社株主臨時総会の報告。
クアハウス岩滝について 売上計画表に基づいた売上実績、来館人数の報告を要請。SL等文化財の活用方法。

（商工振興課）

持続化給付金受給後の町としてのフォロー。政府の第2次補正の内容については、9月定例会で説明。キャッシュレス事業の進捗について。

（農林課）

旧与謝小学校活用検討委員会を開催したとの報告。農林業振興事業提案について説明。委員会全体を通して、委

追加議案 財産の処分

旧与謝野町立三河内幼稚園

令和2年3月末日に閉園した三河内幼稚園について、NPO法人こども森保育園を契約の相手方とし、建物部分の財産（土地については貸付）の処分を行うものである。1名の議員の賛成討論を行い、全員賛成で原案を可決した。

主である建物及び付属建物 園舎及び倉庫
床面積合計 4百99・72㎡
敷地 4千1百52・72㎡
処分金額 1千1百60万円
契約の相手方 NPO法人 こども森保育園

広報特別委員会報告

報告者 山崎良磨

議会広報紙の今を学ぶ

京都市自治会館
令和2年8月7日開催
広報編集特別委員長研修会が行われ、正副委員長と議会事務局で出席をした。講師である吉村氏より昨今の議会広報紙のトレンドや、見やすいレイアウトの指導を受けた。

宮津与謝消防組合議会

報告者 山崎政史

令和2年

第3回8月臨時会

令和2年8月27日開催
臨時会では、寄贈救急自動車整備費・消防債償還元金の整理を中心に歳

与謝野町宮津市中学校組合議会

報告者 今井浩介

令和2年度

第2回臨時議会

令和2年8月3日開催

与謝野町議会の構成変更により議長選挙が行われ、与謝野町議会の宮崎議員が議長に就任された。議案は2件の審議があり、議案第10号・専決処分の承認を求めることについては、会計年度任用職員制度により、職員の職務の宣誓に関する条例の一部を改正する提案を可決された。

京都地方税機構議会

報告者 多田正成

令和2年8月7日開催

第1号議案、令和元年度税機構歳入歳出決算認定について。歳入25億4千25万3千7百46円。歳出25億4千26万4千63円。その内各市町村の負担金総額25億3千2百23万80円（99・7%）当町

一般質問 ここが聞きたい

「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要なため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して疑義を問いたすことです。

※発言順に掲載しています



目次

ページ	質問事項	質問議員
18	産業振興施策の今は	山崎 良磨
18	観光協会の補助金が増加しているが	高岡 伸明
19	観光行政(観光協会)の課題とは	下村 隆夫
19	見える町づくりを問う	渡邊 貫治
20	行政のデジタル改革は進んでいるのか	今井 浩介
20	町民意見を聞かない進め方の繰返し	永島 洋視
21	高齢者の移動手段は	浪江 秀明
21	S L 広場車両移設4者会議の進展は	杉上 忠義
22	新型コロナ感染者当地域の医療体制は	安達 種雄
22	野生鳥獣による被害と対策を問う	河邊新太郎
23	コロナ禍における教育の取り組みは	宮崎 有平
23	全ての面に計画を立てて示すべき	家城 功

府後期高齢者医療広域連合議会

報告者 宮崎有平

京都府後期高齢者医療
広域連合議会報告

令和2年8月28日開催

令和2年度第2回京都府後期高齢者医療広域連合議会が開催された。副広域連合長には安田向日市長と古川京都府副知事を選任。議案第9号令和2年度特別会計補正予算は、補正額10億9千74万円の増額で賛成全員。認定第1号令和元年度一般会計決算認定は、賛成多数。認定第2号令和元年度特別会計決算認定は、賛成多数。採択となった。

府町村議会議長会

報告者 多田正成

令和2年8月6日開催

協議事項
府政懇談会。京都府令和2年度4月5月6月分のコロナ感染症対策補正予算。公職選挙法改正、地

方議会選挙の公営化。令和元年度京都府町村議会議長会一般会計歳入歳出決算認定。全国議会議長会先進地視察研修。

令和2年8月25日開催

府政懇談会が開催され河川改修及び浚渫、森林整備、治山事業、農業振興では多目的機能支払い交付金について当町の実情を強く訴え要望した。

全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策債及び地方税改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2、地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3、令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4、財源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5、特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

Q 産業振興施策の今は

A 様々な動きを行っている



山崎良磨 議員



民間業者に賃貸している浪江谷

問 当町が行っている産業振興施策の現状を報告してもらいたい。

町長 シルクプロジェクトについては協議会において継続したいというメンバーが現在プランを練っている最中である。

ホップ栽培については、順調に栽培量は推移しているが、地方創生推進交付金事業が今年度で終了するため、支援の方向性を見直す時期にあると考える。

与謝野町染色センターは存続させインターンシップやセミナー等を行い交流、関係人口を増やしたい。

産業創出交流センターについては、町が現在、運営する中で飲食経験者を

一名、会計年度任用職員として雇用し設置目的に沿った展開を実施したいと考えている。

問 全ての事業を継続させている必要性は感じない。一定のリスクヘッジを行うべきではないか。

町長 現時点での進捗の違いはあるが、現在もプロジェクトに多くの方々関わっている。引き続き継続させていきたい。

問 公費でプロジェクトを行う以上、全町民が出資者と考えるべき、一定の説明報告とリスクヘッジは必要と考える。(議員提言)

Q 観光協会の補助金が増加しているが

A 交付の基準は業務量から試算している



観光協会本部

問 観光協会の運営費の補助金が増加しているが、交付の基準はどのようになっているか。

町長 職員配置や処遇の改善、人員体制の支援強化を図っている。交付の基準は、人件費は観光協会の業務量から何人必要かを試算している。

問 観光協会への補助金はいつの時期に交付され、適切に使われているか誰が検査しているのか。

町長 年度当初に交付申請書が提出される。事業計画や収支予算書を精査し、交付する補助金額を決定する。四半期ごとに観光交流課の職員2名で元帳等チェック、ヒアリングを実施し、検査している。



高岡伸明 議員

問 町決算参考資料と観光協会決算書とを見比べると、町補助金が732万円あり、委託料540万円、盗難事件による雑損失が172万円余り計上されている。町補助金で損失補填がされているのではないか。

町長 全くの誤解である。観光協会のH27年度決算書だけを見ると勘違いをしてしまう。H28年度収支予算書を見ると、盗難事件による役員立替金収入として172万円計上し、前期末払い費用として172万円を計上されている。H28年4月に、これらに関する会計処理を観光協会が行っている。

Q 観光行政(観光協会)の課題とは

A 阿蘇ベイエリアの今後・滞在コンテンツの現状

問 6月議会で観光の現状や課題の具休案は。

町長 阿蘇ベイエリアの今後の展開、加悦S.L広場の2号機関車の存続依頼クアハウス岩滝改修工事後における集客提案や旧加悦町役場の活用及び事業展開、道の駅の状況や工房めぐりの滞在コンテンツについて懇談。

問 観光戦略は議会で様々な場面で、阿蘇海・ちりめん街道・大江山といっているが具体策をもって作業するのが観光協会の役割のほずだが。

町長 体感・体験をキーワードとした滞在コンテンツづくりに力を傾注し、観光戦略に沿った事業展開を行っている。

費用対効果については。



阿蘇シーエリアの今後の展開は

町長 一人当たりの消費額は平成26年と比較し、約1.5倍以上の1398円となり、外貨を稼ぐ仕組みが構築されつつあると考えている。

Q 見える町づくりを問う

A 本町内の全戸数の60%相当被害を受ける



渡邊貫治 議員

土砂を取り除き、火災予防の堤でもあることを鑑み、直ちに土砂を取り除くべきだ。区民の安心、安全とは何か。

町長 弓木区長が立会い、現地確認をした。今のところ大丈夫である。

問 防災堤と防火堤の安全は住民・区民の願いである。(議員提言)

問 町全戸数のうち洪水・土砂災害の想定区域内で、災害想定戸数は。

町長 平成30年度京都府が公表した。洪水浸水想定区域、土石流と急傾斜の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の戸数含め約5400戸、町全体の約60%である。

問 洪水・土砂災害警戒区域内で、新築(増築、造成)、上下水道など確認申請の時の対処は。土地の嵩上げなど指示、指導しているのか。

町長 来庁、問合せの場合ハザードマップで確認し回答する。敷地の嵩上げについては、指示、指導までしていない。

問 弓木地区に土砂が流れ込み地域に多大な被害をもたらした。金堀の堤の



金堀の堤 防火つつみか



下村隆夫 議員

行政のデジタル改革は進んでいるのか

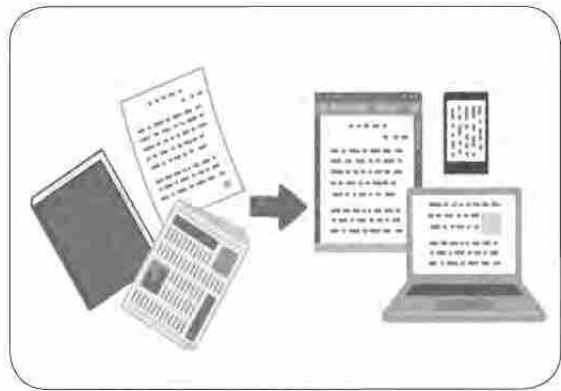
A 状況等踏まえながら業務の効率化を図りたい



今井浩介 議員

問 コロナ社会の中で変革の必要があると動きが進んでいるのが、官民の業務及び手続きにおけるアナログ原則の見直しとして、従来の仕事のやり方を根本的に見直し、リモート環境下での業務遂行の障害を取り除くことが急務とされている。特に押印や書面、対面等を原則とした申請・手続き、FAXや郵送等、紙を前提とした連絡等のアナログ原則を見直し、ペーパーレス化を進めなければならない。行政機関の職員がオフィスに出勤しなくても必要な行政サービスを適切に提供できる環境が必要とされている。当町の行政のデジタル化への動きはあるのか。

町長 既の実施しているのは、情報共有やコミュニケーション機能を備え業務効率を上げるグループウェア、電子決裁業務の財務会計、AIを活用した議事録作成支援、公共施設のオンライン予約等がある。また、WEB会議による出張の見直しやオンライン講習の受講、会議によるペーパーレス化、ホームページからの各種様式のダウンロード、公共料金のコンビニ納付等。今後は、公共料金のキャッシュレス決済の導入や町民の皆様にもできる限り庁舎にお越しにならなくても行政サービスが受けられる仕組みを構築したい。



行政のデジタル改革を

町民意見を聞かない進め方の繰返し

A 町の判断で給食センター場所方針を決定した

問 第一回あり方検討委員会で、どこに、どのようなセンターをつくるかの方向を出してほしいと提案しているが結論は出ていない。それなのに町方針が決定されたことは、問題ではないか。

学校課長 町がセンター場所方針を判断することは検討委員会です承済。断することには検討委員会です承済。断することには検討委員会です承済。断することには検討委員会です承済。

学校課長 具体的な場所をどこにするかの意見を聞いていないのは事実。

SL保存町方針後退か
問 2号機関車等3車両を町が、加悦鉄道ゆかりの3車両を保存会が動態保存する方向が新聞報道された。これは



永島洋視 議員



住民意見を取り入れた整備を

6月に町長が宮津海陸運輸との面談した結果を受けたもの。その後9月には、保存会提案に非協力的な文書回答があった。何が本町か町方針を明確にせよ。
町長 3月に治金会長と懇談し6車両は町内で保存したいと話した。その後、町は3車両保存を決定した。保存会提案の3車両保存は支援する。
問 建物レール等工事は独自で行う。町有地の借入を要望しているだけなのに否定的。文化財であり保存に協力する姿勢が必要では。町は何を支援するのか。
町長 現段階で支援策は示せない。

高齢者の移動手段は

A 最良の方策と考えている



浪江秀明 議員

問 路線バスの運行が新たに変更されたが、高齢者の利便を考えられているのか。

町長 利用の多い高校生の通学手段を確保し、次に利用の多い高齢者の買い物・通院に配慮すること、また、生産性を向上し持続可能な路線とするという考えにより議論を踏まえ変更した。なお、幹線への接続や地域内の移動手段として、町営バス岩屋線の新設と全路線を週2日運行から週3日運行に拡充する。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響により開催が遅れていたが、これまで3回開催している。なお、請願代表者と協議を重ねたが、協議が整わず、あり方検討委員会を立ち上げ議論を委ねることで双方が同意し、まとめられた結果は請願代表者、行政ともに最大限尊重することを確認している。また、議論の進め方は、委員会に任せており、町民の意見をしっかりと取り入れて進められるものと考えている。

SL広場車両移設4者会議の進展は

A 建設的な意見交換ができると考えている

問 閉園のSL広場から与謝野町が引き取る意向、2号機関車（国の重要文化財）などと新聞に大きく報道されたが、なぜ、府、宮津海陸運輸、NPO法人加悦鉄道保存会、本町の4者会議が進展しないのか。保存会から町に出されている要望について町長から直接回答されるべきであるが。

町長 保存会が保存展示を決定された3車両に係る経費に対し、町が補助金を充てることと誤認識があり協議が後退している。その後、4者会議において情報共有を行い、この間の行き違いや疑義等について意見交換を行った。担当課から報告を受けて、私の考えも十分伝えているので4者会議に反映して



どうなる車両移設

いると考えている。保存会で動態保存していくための活用計画、資金計画を再度煮詰めていただきたい。

文化財とまちづくり

問 文化財を観光やまちづくりに活用して地域経済振興に取り組んでいく国の方針が示されているが、本町の計画は、マイクローリスム（地域内観光）と組み合わせ本町の施策が重要だが、
町長 町文化財保存活用地域計画を本年度中に策定する。



杉上忠義 議員

あり方検討会の進展は
問 公共施設のあり方検討委員会の進捗状況は。



あり方検討委員会開催中

Q 新型コロナウイルス感染者当地域の医療体制は

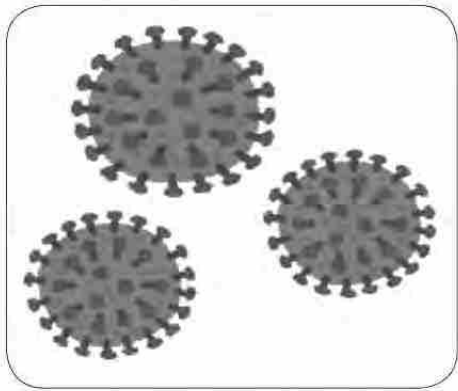
A 8月末で5百床以上確保されている



安達種雄 議員

問 新型コロナウイルスは、我が国内でも第1波が4月に訪れ当時1日の感染者が7百人余だった。第2波の7月〜8月は多い日は千6百人を超えた。当町でも、新型コロナウイルス感染症対策本部が町長を本部長に設置された。同じく感染者に対応した京丹後市の市立病院長は「感染者の拡がりが少ないのは住民の努力であり、医療が崩壊すれば地域自体が崩壊する。感染が発生したら、オール京都での対応が必要だ」と述べている。今後、秋から冬へ向い、インフルエンザの流行が予測される。専門医師も症状が似ているため見分けが難しい、と言っている。今後、丹後地方にも集団感染が皆無の保証がないなか、医療機関の受け入れ体制はどの様に確保できているのか伺う。

町長 京都府内では南部を中心に新規感染者が日々確認されていて、本町でも数例が確認されている。新型コロナウイルス感染症の、検査体制、濃厚接触者の調査、感染者の入院については京都府が中心で進め、感染者の入院療養体制は年齢や症状、基礎疾患など「入院医療コントロールセンター」が調整している。感染者の入院病床は、今後の感染状況に応じて年内に7百50床まで確保し、軽症者の宿泊療養施設も進める方向である。



万全の医療体制を

Q 野生鳥獣による被害と対策を問う

A 鳥獣防止フェンス設置並びに維持管理の支援



河邊新太郎 議員

問 センサーを取り付けることのメリット、及び今後もセンサーを取り付けて行く予定をしているのか。

町長 センサーを取り付けるメリットは、檻の管理者の労力の軽減となる。今後のセンサーの設置については、拡大計画はない。

問 捕獲鳥獣の現在の廃棄処分、及び本町におけるジビエ料理の現状は。

町長 捕獲鳥獣の処理状況は、約70%が町の最終処分場での埋設処分、約20%が現地での埋設処分、そして約10%が捕獲者による有効活用。ジビエ料理については、現在「かや山の家」において「ジビエ加工施設」の整備を行っている。年間50頭程度の



町内設置のセンサー付檻

食肉加工をし、「かや山の家」の料理で提供する。
問 動物由来の感染症に対する予防対策について。
町長 感染予防策としてはマダニに咬まれないこと。そのためには、山へ入ったり、農作業や草刈りで草むらなどに入る場合は、肌の露出を最小限にする。
問 荒廃状態の里山を見通しの良い明るい草原にしていけば野生鳥獣が集落に来ることがないとも言われているが、町長の見解は。
町長 国府の緩衝地帯整備事業の採択支援を行う。

Q コロナ禍における教育の取り組みは

A 「今」を大切に充実感や達成感が持てる教育

問 新型コロナウイルス感染症の学校への影響は。

教育長 3月に15日間、4月から17日間、臨時休業とした。児童生徒の不安を解消し、休業中でも学びを保障していく取り組みを実施している。

問 不足授業数の対応で、夏休みが短縮されているが、児童生徒への影響をどのように考えるか。

教育長 夏休みが短いことで心配することは多々あったが、大きな影響は見られていない。

問 20年後を支える人材をどのように育成するのか、今の子ども達に何が必要と考えるか。

教育長 コロナ禍であっても教育の方向性は変わらない。学校での教育活動



コロナで変わる授業形式

や社会教育の場を通して、人材の育成に努める。

問 コロナ禍の減災対策

町長 避難計画の住民への情報や周知の備えと避難所の感染対策は。

町長 「避難行動判定フロー」と「避難情報のポイント」を各戸配布し、周知している。避難所運営はマニュアルを作成し、町と各区が協力して感染防止対策を図る。

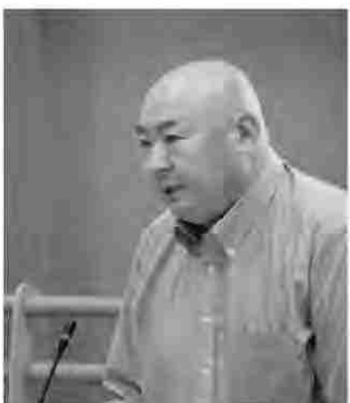
問 コロナ禍の高齢者支援

町長 今後の高齢者の健康増進・介護予防は。

町長 「チャレンジウォーキング事業」を実施している。町有線テレビで、運動紹介番組を放送した。次は、低栄養予防のための料理番組を制作する。

Q 全ての面に計画を立てて示すべき

A 町民に「見える」よう心掛け示していく



家城 功 議員

問 役場で働く職員は町長の考えを理解し職務にあっているのか。

町長 ミーティングや打ち合わせなどをこまめに行っており理解していると認識している。

問 一日、一週間、一カ月、一年と計画と目標をしっかりと持って職務に取り組める体制づくりが必要であると感じている。

町長 職員は町民のために頑張っている。更に強化を図りたい。

問 決算資料を見ても当町の「財政」は非常に厳しい現状にある。バランスの取れた財政計画をしっかりと策定し健全化を早期に図るべきでは。

町長 財政状況については認識している。



いつになるのか新庁舎

問 効率化を図り計画に基づき行政運営を進めなければ余剰は生まれない。余剰のある財政運営に努めていただきたい。
町長 健全な財政運営を図り町民に対し行政の役割を果たしていきたい。
問 庁舎について一体どう考えているのか。
町長 しかるべき時期が来たら、しかるべき場所に新たに建設したい。
問 現在基金は約三千万円弱。このペースなら百年以上先の話。やるのなら計画を示し、やらないのなら「やらないう・できない」を明確にすべき。
町長 現時点ではこれしか言えない。計画を示すことは重要であると思う。